

1. 学校教育目標

希望を抱き 自ら行動する たくましい 吉田っ子の育成 ～ 笑顔と感動があり、一人一人が輝く学校をめざして ～

めざす児童の姿 《自らがんばる吉田っ子》

- (1) 自ら学び、**学びに喜びを感じる**子ども(自ら進んで勉強)
- (2) 自ら**思いやれる**子ども(友だちのことを考えて行動)
- (3) 自ら健康を目指し、**最後までやり抜く**子ども(自ら進んで勉強)



子どもたちへ

- 「**自ら進んで勉強する子ども**」
- 「**友だちのことを考えて行動する子ども**」

めざす学校の姿

- (1) **一人一人が輝く**、生き生きとした学校
- (2) **挨拶と対話がある**、笑顔あふれる学校
- (3) 生きる力につながる**学びがある**学校
- (4) 安全で美しく整備された、潤いのある学校
- (5) **地域と共に歩む**、開かれた学校

めざす教師の姿

- (1) 子どもが活躍できる場を設け、**良さを発見し**、生かすことのできる教師
- (2) 子どもの実態を適切に把握し、実態に応じた指導の工夫ができる教師
- (3) 子どもの**成長を喜び**、**自らの教職人生を楽しめる**教師
- (4) 職員・保護者・地域・専門家と**積極的に連携協力し**、チームで力を高めることのできる教師

2. 学経営方針

- (1) 「人生を拓く」確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた児童の育成に努める。
- (2) 児童の実態や**一人一人の教育的ニーズに応じた指導及び支援**を行い、わかる授業を実践する。
- (3) 児童の主体性やお互いの違いを生かした学び合い、育ち合いを導く。
- (4) 児童一人一人が正しい自己理解を深め、自尊感情を高められよう、常に児童理解に努め、**一人一人の良さを認め**、自己の成長を児童自身が実感できる機会を重視する。
- (5) 児童の安全確保を最優先とし、保護者・地域と協力して安全で清潔な学校づくりに努める。
- (6) 情報の収集・共有化に努め、全職員の共通理解のもと、**連携・協力して**指導及び支援にあたる。
- (7) **全職員が互いの長所を生かしながら**、資質・能力を高め合い、**機動力のあるチームの一員**として学校経営に積極的に参画する。

- (8) 教職員一人一人が業務改善の意識をもち、適正化の観点から業務を見直し、効率化を図る。
- (9) 誠実で適切な教育実践によって保護者・地域との信頼関係を更に深めるとともに、学校評価を通じて**小規模校としての長所・課題を意識し**、その伸張及び課題の克服に努める。
- (10) 地域の特性を生かし、それぞれの役割を確認しつつ、**保護者・地域と連携・協働し**、社会に開かれた教育課程・学校づくりを推進する。

3. 学校経営の重点

(1) 自ら学び、思考し、表現する力の育成

- 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と**読書活動の充実**を図る。
- 児童が学習に対する意欲と見通しをもち、学習活動を振り返って学んだことを次の学習や生活に生かせる**指導**を工夫する。**(教えられるのを待つだけでなく、自ら課題解決に向けて根気強く取り組めるように)**
- 児童同士、教師や地域の方との対話等を通じ、自己の考えを広げ深める対話的学びのための指導を工夫する。**「よく聴き(理解し)、話し、考える力の育成」**
- ICTを活用した思考・表現力の向上**を図る。
- 指導目標に即した評価規準を設定し、評価方法を工夫することにより、自らの指導の改善に努める。
(指導と評価の一体化)
- 特別支援学級在籍児童をはじめ、**全ての児童の発達状況に応じた学習**を保障する。
(授業のユニバーサルデザイン化と合理的配慮の徹底)
(個に応じた指導の工夫・改善)

(2) 違いを認め合い、生かし、育ち合う指導の充実

- 映像教材やポートフォリオの活用を通して、**道徳教育の充実**を図るとともに、授業公開により、家庭・地域と連携した道徳教育を推進する。
- 児童のコミュニケーション能力の向上とともに、規範意識の醸成、豊かな人間関係づくりに努めるなど、**社会性を育み、友だちのことを考えることのできるような教育活動**を展開する。
※学級・学年・縦割り活動・学校行事・他校交流を生かして
※児童同士の関係を意識的に見取り、指導のチャンスを見逃さない
- 個別の指導計画を共通理解し、また通常の学級のねらいも明確にすることで、**交流及び共同学習の充実**を図る。
- 保育所・特別支援学校(居住地校交流も含む)や関係・専門機関等との連携を積極的に生かす。

(3) たくましさを育む指導の充実

- 児童一人一人が正しい自己理解を深め、自尊感情を高められようように、常に児童理解に努め、一人一人の良さを認め、**自己の成長を児童自身が実感できる機会**を重視する。
(キャリアパスポートの活用)
- 清掃活動・学校農園・水田等での発達段階に応じた**勤労生産的活動の充実**を図る。

- 運動の楽しさを味わえる工夫と**体力向上活動の日常化**により、体力と**免疫力**の向上を図る。(外遊び)
- 適時性のある発達段階に応じた保健教育の充実と保護者との連携により、健康の増進と**感染防止**、望ましい生活習慣を形成する力を育成する。(外部の専門家、学校保健委員会の活用)

(4) 学び合い・高め合うための連携・協力

(適切で、効果的・効率的な分掌遂行のための工夫)

- 相互授業参観・授業研究等を通じて、**教員としての資質・能力を高め合う**。
- モラルアップ委員会の工夫・活性化により、組織的に士気の高揚を図るとともに、**不祥事を防止**する。
- 校務支援システムを積極的に活用し、情報収集、整理、共有化を効率的に行う。
- 物品の管理・収納を工夫し、効果的・効率的な活用を図る。
- 徴収金マニュアルに基づき、管理アイテムを活用し、**計画的・効率的・適正に予算執行**する。

(5) 保護者・地域と共に進める開かれた教育課程・学校づくりの推進

- 児童の様子や教育活動に関する**情報発信を積極的に行う**。
- 保護者・地域の方は、教育の大切なパートナーであるという意識をもって、積極的に連絡や相談、情報交換を行うなどの**誠実な対応**に努める。
- ねらいや役割を明確にしなが、児童の安全確保や感動のある体験のための保護者・地域の方の協力を得る。
- 保小連携を図り、幼児期の教育からの円滑な接続を踏まえた教育課程の編成を工夫する。
- 防災・防犯・安全教育の充実により、**「自分の命は自分で守る」防災意識の定着**を図るとともに、災害時に他者と協力して自他の安全を確保しようとする意識・態度を育成する。(地域合同避難訓練)